

図書だより 5 月号

2024 年 5 月 17 日 (金)

全校生徒の皆さん、長い間不治の病 (= 治らない病気) とされてきた「がん」についてかなり高い治癒率 (= 治す確率) を実証したとするがんの治療方法が、様々な本で紹介されています。

今は、自分自身が、家族親戚の身内が、友人などの知り合いががんにかかっていない幸運な状態にあるとしても、日本国民の 2 人に 1 人はがんにかかり、3 人に 1 人 (4 人に 1 人とする本もある) ががんで死亡している、そのような状況の日本において、がんと無関係に一生を送ることは難しいと考えられます。

その時に、対応の仕方を間違ってしまう、後で後悔することも十分考えられます。

おかしい治療方法にかかって、がんがよくなるどころか悪化し、その上高い治療代を取られてしまう可能性もあります。

がんに限らず、イザ何かがあった場合に、それに最もふさわしい行動がとれるように知識を蓄えておく。それには、**関連する本をしっかりと読むことです。関連した資料をしっかりと読んでおくことです。**

まずは、知識を。そして、**その知識をもとに行動することです。**

今、**図書館外廊下に「がんの研究」をテーマに掲示をはじめています。**例年は、夏休みでまとめて 10 月からはじまる読書月間に本格的に掲示するのですが、できるだけ早く生徒の皆さんにお知らせした方がいいと思われる情報・知識ががんに関しては少なくありません。

少しずつ、図書館前廊下に掲示していきますので目を通してください。若い皆さんと違って、皆さんのご両親、おじいちゃん・おあばちゃんのがんにかかる確率も高くなります。**自分にとって大切な人たちのためにも、しっかりと向き合って、その知識を身につけていきましょう。**

掲示物を読んでわからないことがありましたら、私もまだ研究中ですが、わかる部分については答えますので、**遠慮なく聞いてみて下さい。**

また、わからない部分については調べてみますし、私がわからないことで皆さんがわかっていることについては、**逆に教えてもらえれば、私の知識も深まります。**

それでは「がん」について一緒に学び、考えていきましょう！